

❁ 本店7F 画廊インフォメーション ❁

(最終日は16:30閉場)

—100年の時を越えて— オールドノリタケ展

4月27日(木)～5月3日(水・祝)

明治中期から、大正、昭和初頭にかけて日本で製造され、その優れた技術力と芸術的テクニックが融合した芸術作品としても今日高い評価を受けている輸出陶磁器「オールドノリタケ」の名陶展を開催いたします。



「モールド 向日葵花瓶」
明治24年(1891年)頃作 高さ25cm

—赤富士繚乱— 片岡球子版画展

5月4日(木・祝)～5月10日(水)

大胆な構図と鮮やかな色彩で富士山などの作品を描いた片岡球子(1905-2008)のオリジナル版画を中心に一堂に展覧いたします。



「繚上の赤富士」リトグラフ 37.9×45.8cm

古稀記念 京焼 加藤利昇茶陶展

5月11日(木)～5月16日(火)

京焼を代表する作家でもある加藤利昇氏の9年ぶりの個展を開催。茶碗、水指、花入れを中心に新作を一堂に展覧いたします。

会期中作家来場



「乾山写老松絵茶碗」

生誕130年 藤田嗣治と20世紀美術の巨匠たち展

5月18日(木)～5月23日(火)

エコール・ド・パリを代表する画家 藤田嗣治(1886-1968)は、パリで最も有名な日本人画家として愛され続けています。本展では当時制作された希少な版画作品、水彩や素描と共に同時代に活躍した20世紀の巨匠たちの作品と併せて展覧いたします。



藤田嗣治「花を持つ少女」銅版画1929年サイン付

アンティーク ヨーロッパ名窯展

5月25日(木)～5月31日(水)

18世紀初頭、ドイツのマイセンはヨーロッパ初の磁器を誕生させ、フランスではセーブルがルイ15世の庇護のもと宮廷生活を飾る作品を生み出しました。本展では、優雅で華麗なアンティーク磁器を一堂に展覧いたします。



マイセン「山羊に乗る仕立て屋」